

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 961 号	氏名	Amuza Byaruhanga Lucky
学位審査委員	主 査	由井 克之	
	副 査	平山 謙二	
	副 査	濱野真二郎	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 サルマラリア原虫 <i>Plasmodium knowlesi</i> がヒトに感染することから、<i>P. knowlesi</i> 感染病態の分子レベルでの解明を目指した研究であり、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 BLAST 解析により、マウレル裂に局在する熱帯熱マラリア原虫分子の <i>P. knowlesi</i> 相同分子を同定した。これらにタグを付加した組換えタンパク分子をマラリア原虫に発現させ、その局在を詳細に検討しており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、<i>P. knowlesi</i> 感染赤血球のシントン・マリガン裂は、熱帯熱マラリア原虫感染赤血球のマウレル裂と同様に、原虫分子の赤血球表面輸送への中継点として機能する可能性が示唆された。今後のサルマラリア研究への貢献が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文はマラリア学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			